

図書だより



こまはねしょうがっこう
駒羽根小学校
令和4年2月2日

◇春よ来い◇

2月3日は「節分」です。冬と春の変わり目である「節分」には邪気が入りやすいと考えられていたため、鬼を払う行事が生まれました。最近では豆まきと恵方巻が恒例行事ですね。炒った豆を神棚にお供えし、夜に家長が豆をまくのが正式なやり方だそうです。恵方巻はその年の恵方(2022年は北北西やや北)を向き、願い事をしながら無言で一気に食べるのが良いとされます。豆をまいたら自分の年齢と同じだけ「年取り豆」を食べます。新年を迎えるため「年齢+1」と言われています。



「鬼は～外！福は～内！」

「おにはそと」「ふくはうち」みんなの家では豆まきをやりますか？
自分の歳よりも1つだけ多く豆を食べると、その年は病気になるはず
に健康に過ごせると言われています。どうして豆をまくのでしょうか。
詳しく知りたい人は図書館の「行事の由来えほん・せつぶん
まめまきだ」を読んでみてね。

古河市出身の平沢保治さんから、今年も「命の大切さと心を育む」本の寄贈がありました。平沢さんは13歳の時ハンセン病と診断され、国の隔離政策の下、ひどい差別と偏見の中、元患者の人権回復に尽力され、今も活動を続けておられます。寄贈本は古河市の児童生徒の人権教育に役立ててほしいとのことです。図書館前の廊下に展示してあるので授業や休み時間など、自由に手に取り活用してください。

☆50冊賞, 300冊賞は達成できましたか？☆

1年間で50冊以上・・・「県教育長賞」。

4, 5, 6年生の3年間で300冊・・・「県知事賞」

駒羽根小では全員が50冊賞を達成できるように頑張っています。まだ達成できていない人は休み時間などを利用して図書館に来てください。あなたにピッタリの本を探します。「読書カード」に記録し忘れている人はあなたが借りた「読書記録」を見せるので図書館の先生に声をかけてください。

読書する子は、成績がいい

下の表は、小学6年生の読書の時間と成績の関係を表したものです。
平成29年度全国学力・学習状況調査 (小学6年生)
読書時間と点数の関係

国語Bの点数

読書時間	点数
2時間以上	62.5
1時間以上 2時間未満	62.0
30分以上 1時間未満	61.5
10分以上 30分未満	60.0
10分未満	54.0
全くしない	50.0

算数Bの点数

読書時間	点数
2時間以上	48.8
1時間以上 2時間未満	49.5
30分以上 1時間未満	49.3
10分以上 30分未満	47.8
10分未満	43.5
全くしない	40.5

たとえ5分(10分未満)という短時間でも本を読む子どもの方が点数が高くなっていることがわかります。これは日本だけでなく、アメリカやイギリスでも同じで「読書習慣」がある子どもは高い点数を取るという結果になっているそうです。